

平成22年度

歳入歳出決算補充説明

生活・文化部

## 平成22年度歳入歳出決算補充説明

今議会に提出しました、平成22年度三重県歳入歳出決算のうち、生活・文化  
部及び労働委員会分にかかる決算の概要につきまして、「平成22年度三重県歳  
入歳出決算に関する説明書」により、ご説明申し上げます。

### 〔一般会計・歳入〕

まず、一般会計の歳入決算額ですが、生活・文化部関係全体で、予算現額  
174億2,916万5千円に対して、調定額168億9,602万7,762円、  
収入済額168億5,263万3,470円となっています。

### (使用料及び手数料)

50頁の第8款「使用料及び手数料」、第1項「使用料」についてご説明しま  
す。

第1目「総務使用料」は、当部関係では、予算現額4,558万2千円に対  
して、調定額、収入済額ともに、4,711万5,182円となっています。これは  
美術館・斎宮歴史博物館の観覧料、その他建物使用料などです。

(総務使用料の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
土地使用料	458,416
建物使用料	15,772,306
人権センター使用料	1,143,820
美術館観覧料	23,560,050
美術館使用料	2,469,980
斎宮歴史博物館観覧料	3,710,610

第4目「労働使用料」は、予算現額1,471万8千円に対して、調定額、収  
入済額ともに、1,469万9,500円で、津高等技術学校の入校料及び授業料  
です。

(労働使用料の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
津高等技術学校授業料	14,304,000

津高等技術学校入校料	395,500
------------	---------

次に、54頁、第2項「手数料」、第1目「総務手数料」のうち、当部関係は、予算現額1億1,553万7千円に対して、調定額、収入済額ともに、1億1,333万6,250円で、旅券事務手数料などです。

(総務手数料の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
旅券事務手数料	113,257,700
図書等複写手数料	78,550

また、60頁、第4目「労働手数料」は、予算現額31万5千円に対して、調定額、収入済額ともに、34万8,200円で、津高等技術学校入校選抜手数料などです。

(労働手数料の主な項目)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
津高等技術学校入校選抜手数料	217,800
職業訓練指導員免許手数料	110,400

(国庫支出金)

74頁の第9款「国庫支出金」、第1項「国庫負担金」、第4目「労働費負担金」は、予算現額4,782万5千円に対して、調定額、収入済額ともに、4,345万7,059円で、職業訓練事業費負担金などです。

(労働費負担金の主な項目)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
職業訓練事業費負担金	42,512,504

82頁、第2項「国庫補助金」では、第1目「総務費補助金」のうち、当部関係では、予算現額16億1,842万3千円に対して、調定額、収入済額ともに、13億3,366万7,565円で、隣保館事業推進補助金などです。

(総務費補助金の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
電源立地地域対策交付金	278,173,689
地方改善事業補助金	2,627,000
隣保館事業推進補助金	205,846,000
社会福祉施設整備費補助金	44,215,000
国宝重要文化財等保存整備費補助金	26,137,000
地域活性化・公共投資臨時交付金	26,466,998
地域住宅交付金	503,000
地域活性化・きめ細かな臨時交付金	514,829,878
社会資本整備総合交付金	1,540,000
地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)	80,329,000
新しい公共支援事業交付金	153,000,000

96頁、第4目「労働費補助金」は、予算現額37億6,741万3千円に対して、調定額、収入済額ともに、37億6,741万2千円となっており、緊急雇用創出事業臨時特例交付金、職業訓練事業費交付金などです。

(労働費補助金の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
職業訓練事業費補助金	13,846,000
職業訓練事業費交付金	153,566,000
緊急雇用創出事業臨時特例交付金	3,600,000,000

106頁、第9目「教育費補助金」のうち、当部関係では、予算現額28億4,436万1千円に対して、調定額、収入済額ともに、28億9,716万2,827円で、私立高等学校等経常費助成費補助金、高等学校等就学支援金交付金などです。

(教育費補助金の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
私立高等学校等経常費助成費補助金	951,371,000
地域活性化・経済危機対策臨時交付金	226,242,000
高等学校等就学支援金交付金	1,714,724,827
高等学校等就学支援金事務費交付金	4,825,000

次に、110頁、第3項「委託金」、第1目「総務費委託金」のうち、当部関係では、予算現額、調定額、収入済額ともに、2,815万6千円となる人権啓発活動等委託金です。

(総務費委託金の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
人権啓発活動等委託金	28,156,000

また、114頁、第4目「労働費委託金」は、予算現額1億9,829万6千円に対して、調定額、収入済額ともに、1億8,803万7,594円で、生涯能力開発等奨励委託金などです。

(労働費委託金の主な項目)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
生涯能力開発等奨励委託金	171,999,077
若年者職業能力開発支援事業委託金	5,656,352
職業能力開発支援事業委託金	10,226,728

(財産収入)

120頁、第10款「財産収入」の主なものといたしましては、第1項「財産運用収入」、第2目「利子及び配当金」のうち当部関係としては、緊急雇用創出事業臨時特例基金、ふるさと雇用再生特別基金、文化振興基金等の基金運用に伴う利子収入で、予算現額4,698万1千円に対して、調定額、収入済額ともに、4,475万6,824円となっています。

(繰入金)

128頁の第12款「繰入金」、第1項「特別会計繰入金」、第1目「他会計

繰入金」のうち、当部関係としては、交通災害共済事業特別会計からの繰入で、予算現額3億8,050万1千円に対して、調定額、収入済額ともに、3億8,611万8,416円となっています。

(他会計繰入金の内訳)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
交通災害共済事業特別会計繰入金	386,118,416

同じく128頁、第2項及び第1目の「基金繰入金」のうち、当部関係としては、緊急雇用創出事業臨時特例基金、ふるさと雇用再生特別基金、文化振興基金、消費者行政活性化基金等から繰入を行ったもので、予算現額53億8,129万6千円に対して、調定額、収入済額ともに、50億5,283万4,792円となっています。

(基金繰入金の主な項目)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
庁舎等整備基金繰入金	1,099,926,281
昭和学寮顕彰人材育成基金繰入金	45,807,804
文化振興基金繰入金	47,637,015
緊急雇用創出事業臨時特例基金繰入金	2,943,298,153
ふるさと雇用再生特別基金繰入金	810,170,228
消費者行政活性化基金繰入金	81,599,011
高校生修学支援臨時特例基金繰入金	16,304,000

(諸収入)

134頁、第14款「諸収入」の主なものとしましては、第4項「貸付金元利収入」、第9目「労働福祉対策資金貸付金元利収入」として、労働金庫に対する貸付金の元金を収入したもので、予算現額、調定額、収入済額ともに、11億929万8千円となっています。

142頁、第6項「収益事業収入」、第1目「宝くじ収入」のうち、当部関係は、予算現額1億4,393万1千円に対して、調定額、収入済額ともに、1億3,973万5,051円となっています。これは自治宝くじ収益金の配分によるものです。

144頁、第8項及び第2目「雑入」のうち、当部関係としては、予算現額6,961万8千円に対して、調定額、収入額ともに、7,058万2,028円となっています。これは、自治体国際化協会助成金収入等です。

(雑入の主な項目)

[単位：円]

項 目	収 入 済 額
自治体国際化協会助成金収入	2,790,000
宝くじイベント共済事業負担金	15,000,000

また、146頁、第3目「過年度収入」のうち、当部関係としては、調定額4,348万3,292円について、収入済額8万9千円、不納欠損額4万円、収入未済額4,335万4,292円となっています。収入未済額の主なものは、中小企業従業員住宅にかかる賃貸料で企業倒産による未収金です。高額の未収金で一括納付できないものについては、分納を促すなど債権管理に努めています。

[一般会計：歳出]

次に、歳出について、ご説明申し上げます。

一般会計の歳出決算額ですが、生活・文化部関係全体で、予算現額275億7,299万8千円に対して、支出済額268億2,565万7,616円、翌年度繰越額3億3,121万4,105円、不用額4億1,612万6,279円となっています。

不用額のうち主なものは、雇用対策基金事業費にかかるものです。

(総務費)

202頁をご覧ください。

第2款「総務費」、第5項「生活文化費」は、予算現額92億7,316万8千円に対して、支出済額88億3,671万1,869円、翌年度繰越額3億2,551万4,105円、不用額は1億1,094万2,026円となっています。

第1目「生活対策費」は、予算現額21億7,253万2千円に対して、支出済額21億5,327万9,363円となっています。これは、NPOとの協働、情報公開制度の運用、男女共同参画推進のほか、職員給与等に要した経費であり、不用額1,690万1,537円は、予算執行上生じた残額です。

(生活対策費の主な事業)

〔単位：円〕

事業名	支出金額	主な事業内容
給与費	1,539,902,673	人件費(173名)
企画調整費	46,395,228	部内共通経費等
NPO 推進事業費	293,918,038	NPO の活動支援等
情報公開制度運営費	5,279,618	情報公開制度の運用
政策・方針決定過程への男女共同参画の推進費	69,220,743	男女共同参画審議会等
男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進費	8,063,000	男女共同参画センター事業等
安全安心まちづくり事業費	182,577,147	安全安心まちづくりの推進

204頁、第2目「交通安全対策費」は、予算現額4億4,090万8千円に対して、支出済額4億3,919万9,102円となっています。これは、交通安全意識の高揚を図るための各種啓発、三重県交通安全研修センターの管理運営等に要した経費であり、不用額170万8,898円は、予算執行上生じた残額です。

(交通安全対策費の内訳)

〔単位：円〕

事業名	支出金額	主な事業内容
交通安全総合対策推進事業費	9,531,605	交通事故相談事業等
交通安全運動展開事業費	383,767,197	四季の交通安全運動推進等
交通安全教育・学習推進事業費	41,968,000	交通安全研修センター管理運営
交通弱者の交通安全意識啓発事業費	3,932,300	交通安全活動指導員育成研修会等

206頁の第3目「文化振興費」は、予算現額31億9,150万3千円に対して、支出済額30億4,848万5,094円となっています。これは、新県立博物館整備事業、文化創造活動支援事業、県史編さん事業等に要した経費です。翌年度繰越額は1億2,146万3千円で、新県立博物館整備にかかる経費です。不用額2,155万4,906円は、予算執行上生じた残額です。



(文化振興費の主な事業)

[単位：円]

事業名	支出金額	主な事業内容
文化創造活動支援事業費	389,205,166	文化活動連携事業等
県史編さん事業費	63,723,721	県史編さん刊行等
新県立博物館整備事業費	2,576,555,146	新県立博物館整備事業等

208頁の第4目「人権同和对策費」は、予算現額5億9,668万7千円に対して、支出金額5億8,232万1,604円で、これは、人権が尊重されるまちづくりの推進事業のほか、人権センター管理運営等に要した経費です。不用額1,436万5,396円は、予算執行上生じた残額です。

(人権同和对策費の主な事業)

[単位：円]

事業名	支出金額	主な事業内容
人権が尊重されるまちづくりの推進費	437,372,550	人権施策総合推進事業、隣保館関係補助等
人権センター管理運営費	71,537,366	人権センター管理運営費
人権センター啓発活動推進事業費	55,616,122	人権啓発事業・人権研修事業等
人権擁護の推進費	11,795,566	人権相談事業等

210頁の第6目「国際化対応費」は、予算現額3億2,557万3千円に対して、支出金額3億1,181万812円となっています。これは、共生社会の形成事業、国際交流活動の支援事業等で、多文化共生啓発、留学生支援、海外技術研修員受入、旅券発給事務などに要した経費です。翌年度繰越額は325万円で、共生社会の形成事業にかかる経費です。不用額1,051万2,188円は、予算執行上生じた残額です。

(国際化対応費の内訳)

[単位：円]

事業名	支出金額	主な事業内容
共生社会の形成費	184,598,692	外国人住民総合サポート推進事業、留学生支援事業等
国際交流活動の支援費	99,311,142	旅券発給事務等
国際貢献の推進費	11,063,732	海外技術研修員の受入等
外国青年招致事業費	16,837,246	国際交流員の人件費

212頁の第7目「消費生活事業費」は、予算現額2億6,055万2千円に対して、支出済額2億3,071万2,505円となっています。これは、消費者行政活性化基金への積立のほか、職員給与費、消費生活相談等に要した経費です。翌年度繰越額は1,778万5,005円で、消費生活に関する啓発事業にかかる経費です。不用額1,205万4,490円は、予算執行上生じた残額です。

(消費生活事業費の内訳)

[単位：円]

事業名	支出済額	主な事業内容
給与費	49,029,466	消費生活センター人件費 (6名)
消費者啓発事業費	557,353	消費者啓発事業費等
消費生活総務費	155,536,192	基金事業、審議会等
事業者指導・相談対応強化費	25,589,494	消費生活相談等

214頁の第8目「総合文化センター費」は、予算現額15億9,392万9千円に対して、支出済額14億5,965万544円となっています。これは、文化会館における公演等の事業及び総合文化センター・生涯学習センター・図書館の管理運営等に要した経費です。翌年度繰越額は1億1,338万1千円となっており、これは、三重県総合文化センター施設保全改修事業及び生涯学習センター・図書館の備品購入などにかかるものです。不用額2,089万7,456円は、予算執行上生じた残額です。

(総合文化センター費の内訳)

[単位：円]

事業名	支出済額	主な事業内容
総合文化センター管理運営費	1,146,704,416	センター管理運営経費等
文化会館事業費	46,172,000	文化会館管理運営及び事業経費
生涯学習センター費	13,505,500	生涯学習センター運営経費
図書館費	253,268,628	図書館管理運営経費

216頁の第9目「博物館費」は、予算現額5,104万9千円に対して、支出済額4,341万3,902円となっています。これは、博物館管理運営及び移動展示事業等に要した経費です。翌年度繰越額は672万9千円となっており、これは、博物館の備品購入にかかるものです。不用額90万6,098円は、予算執行上生じた残額です。

## (博物館費の内訳)

[単位：円]

事業名	支出済額	主な事業内容
博物館費	43,413,902	管理費及び移動展示経費等

同じく216頁の第10目「美術館費」は、予算現額2億6,587万9千円に対して、支出済額2億2,336万8,591円となっています。これは、美術館管理運営及び美術展開催等に要した経費です。翌年度繰越額は3,442万7千円となっており、これは、美術館の設備改修経費にかかるものです。不用額808万3,409円は、予算執行上生じた残額です。

## (美術館費の内訳)

[単位：円]

事業名	支出済額	主な事業内容
美術館費	223,368,591	管理費及び美術展開催経費等

218頁の第11目「斎宮歴史博物館費」は、予算現額3億7,455万6千円に対して、支出済額3億4,447万352円となっています。これは、斎宮歴史博物館管理運営及び特別展開催等に要した経費です。翌年度繰越額は、2,612万8千円で、これは、斎宮歴史博物館の設備改修及び備品購入にかかるものです。不用額395万7,648円は、予算執行上生じた残額です。

## (斎宮歴史博物館費の内訳)

[単位：円]

事業名	支出済額	主な事業内容
斎宮歴史博物館費	287,506,398	管理費及び特別展開催経費等
斎宮跡保存対策費	56,963,954	国史跡斎宮跡発掘調査等

## (労働費)

次に、304頁をお開きください。第5款「労働費」、第1項「労政費」、第1目「労政総務費」は、予算現額73億806万2千円に対して、支出済額70億6,578万7,045円となっています。このうち36億3,928万2,934円は緊急雇用創出事業臨時特例基金にかかる積立金です。そのほかは、緊急雇用創出基金事業補助金、ふるさと雇用再生特別基金事業補助金や、職員給与費、若年者雇用対策、障がい者雇用対策等に要した経費であり、不用額2億4,227万4,955円は、緊急雇用創出基金事業補助金及びふるさと雇用再生特別基金事業補助金の実績減のほか、予算執行上生じた残額です。

## (労政総務費の主な事業)

〔単位：円〕

事業名	支出金額	主な事業内容
給与費	181,494,053	勤労・雇用支援室 人件費(21名)
若年者雇用対策事業費	240,118,497	若者就職総合サポート事業等
障がい者雇用対策事業費	56,952,004	障がい者委託訓練等
雇用対策基金事業費	6,541,337,651	基金への積立金、緊急雇用創出基金事業補助金等

306頁の第2目「労働教育費」は、予算現額1,125万2千円に対して、支出金額1,114万8,509円となっています。これは労働相談員による各種労働相談等に要した経費であり、不用額10万3,491円は、予算執行上生じた残額です。

## (労働教育費の内訳)

〔単位：円〕

事業名	支出金額	主な事業内容
中小企業労働相談事業費	11,148,509	中小企業労働相談の実施等

同じく306頁の第3目「労働福祉費」は、予算現額11億9,204万9千円に対して、支出金額11億8,921万4,752円となっています。これは、勤労者の生活安定と福祉向上を図るため、労働者福祉資金の貸付や勤労者福祉推進事業等に要した経費であり、不用額283万4,248円は、予算執行上生じた残額です。

## (労働福祉費の内訳)

〔単位：円〕

事業名	支出金額	主な事業内容
働く環境サポート事業費	31,154,590	若者ワーキングサポート事業等
勤労者福祉と余暇の推進啓発事業費	48,693,282	勤労者福祉推進事業等
勤労者生活安定支援事業費	1,109,366,880	中小企業労働者持家対策資金貸付金等

308頁の第2項「職業訓練費」、第1目「職業訓練総務費」は、予算現額4億1,398万9千円に対して、支出金額3億9,818万6,683円となっています。これは、職員給与費のほか、認定職業訓練校への助成、離職者の再就職支援として大型自動車一種免許等の取得に助成するアビリティUP支援事

業等に要した経費であり、不用額1,580万2,317円は、予算執行上生じた残額です。

(職業訓練総務費の主な事業)

[単位：円]

事業名	支出済額	主な事業内容
給与費	285,128,347	津高等技術学校等人件費(32名)
民間職業能力開発支援事業費	34,093,828	認定職業訓練校助成等
職業能力開発運用事業費	49,416,164	アビリティUP支援事業等

310頁の第2目「技術学校費」は、予算現額3億6,470万2千円に対して、支出済額3億4,455万4,323円となっています。これは、津高等技術学校の管理運営、職業訓練の実施等に要した経費であり、不用額2,014万7,677円は、予算執行上生じた残額です。

(技術学校費の内訳)

[単位：円]

事業名	支出済額	主な事業内容
公共職業能力開発推進事業費	344,554,323	津高等技術学校管理運営経費等

312頁の第3項及び第1目「労働委員会費」は、予算現額1億621万9千円に対して、支出済額1億545万3,051円となっています。これは、労働委員会の管理運営並びに委員、事務局職員の給与費、労働争議の調整及び不当労働行為の審査等に要した経費であり、不用額76万5,949円は、予算執行上生じた残額です。

(教育費)

次に、476頁をお開きください。第10款「教育費」、第8項及び第1目「私学振興費」は、予算現額89億355万7千円に対して、支出済額88億7,460万1,384円となっています。これは、私立高等学校等の経常的経費への補助金及び私立学校の教育振興を図るための補助金等に要した経費です。翌年度繰越額は570万円で、これは、外国人学校における教育の質の向上事業補助金にかかるものです。不用額2,325万5,616円の主なものは、私立高等学校等就学支援金交付事業の実績確定に伴う減など、予算執行上生じた残額です。

〔特別会計：三重県交通災害共済事業〕

引き続き、特別会計についてご説明申し上げます。507頁以降の「三重県交通災害共済事業歳入歳出決算事項別明細書」によりご説明申し上げます。

交通災害共済事業は、交通事故により被害を受けた県民に対し、見舞金を給付し、その生活の安定に寄与するとともに、交通安全意識の高揚を図るものとして実施してきたところですが、事業内容を検討した結果、事業を廃止することとし、共済加入者については、平成20年7月以降順次募集を停止のうえ、20年度末で全て募集を終了しています。今回、見舞金の請求期間が終了したため、平成22年度末で事業の清算を行い、特別会計を廃止しました。

(歳入)

歳入といたしましては、508頁の第2款「財産収入」、第1項「財産運用収入」は、予算現額138万6千円に対して、調定額、収入済額ともに、134万1,907円です。

第3款「諸収入」、第2項「雑入」は、予算現額1万8千円に対して、調定額、収入済額ともに、9,064円です。

第4款「繰入金」、第1項「基金繰入金」は、予算現額4億5,080万6千円に対して、調定額、収入済額ともに、4億5,080万5,302円となっています。

これら歳入の合計は、予算現額4億5,221万円に対して、調定額、収入済額ともに、4億5,215万6,273円です。

(歳出)

次に、510頁の歳出ですが、予算現額4億5,221万円に対して、支出済額4億5,215万6,273円、不用額5万3,727円となっています。支出済額の主なものは、交通災害共済見舞金に関する市町への委託料、市町において交通安全に対する住民の意識高揚を図っていただくための経費である交通安全対策事業交付金などです。なお、特別会計の廃止に伴い3億8,611万8,416円を一般会計への繰出金としました。不用額については、予算執行上生じた残額です。

以上で、生活・文化部及び労働委員会関係の平成22年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。よろしくご審議たまわりますようお願い申し上げます。